

『天才』 作：ポチ子

『天才』 作：ポチ子

天才とは良い言葉だ。

その2文字にさえしてしまえば、

相手が成功を手にした理由も、

自分が手にできなかった理由も、

簡単に説明することができる。

それに、

相手がそれに費やした時間も、

努力も、苦労も、苦悩も、

全部否定することができる。

ざまあみろ。

お前の苦勞なんか知るものか。

せいぜい苦しんでしまえ。

あんたが最初から持っていた、

センスも、

手先の器用さも、

高い画材を買ってくれる親も、

私は憎くてたまらない。

ただ運が良かっただけのくせに、

あたかも努力の対価として、

『天才』 作：ポチ子

それを受け取ったように振る舞うお前が、

私は心底嫌いだ。

— 終わり —